

木をあれこれとみて松の木が一番多い等話し、木には葉の落ちるのと落ちないのがあるよと勢えて呉れました」とお禮に見えられて遊び方の變つたのを喜んでいられた。梅の木を知つていた英ちゃん、一年生になつて間もなく、學校のかえりをふろ〜とやつて来て

「先生議事堂の梅の葉が美しくなつたよ」と

若芽の萌え初めたのを知らしてくれて、つい私は一年生の先生について行つてなり度いと切に思つたものだつた。

これ等表ぜめの様な中にいて、毎日を暮してゆく私は、體質と體格の平行しない事を知り、熱によつてその子供の體質を知ること出来てこれ等をかき終えた夕ぐれおそく家に歸る頃には次の日の保育案、字にされない保育案が三十人三十様に出来てしまつた。

私はその保育案を提げてふらり〜とだまつて子供と遊びつゝ芯から底から子供をみた。私の方が子供より先に泣き喜び喧嘩もするほどに、時にはパチ〜とお尻をたゝいて泣いたこともある程に。

こんな倅に生くる私は、世の中の誰よりも何よりも一番嬉し〜私である。

誘導
保育

郵便やさんごっこ (二)

東京女高師附屬幼稚園

宮本杏子

四 第二日目へつゞけて

朝ポツポツ来た子から墨繪を書きます。子供は朝登園するところからまだポストをあげないの〜と大さわぎです。お友達も澤山いらしてからねと待つてもらいます。郵便局員は朝から郵便局の中にはいりこんで畫をかきにも出て来ません。昨日のように、おま〜ごとの人達と電話で話したり「葉書を買ひに来て下さあいとどなつたりしています。そこで郵便局の中の人に、先生が勧誘の電話をかけます

「KちゃんもTちゃんも墨繪をかいていらつしやいますよ。

御存知でしょうか」

「はー」

「Yちゃんにも、Aちゃんにも、かきにいらつしやいとお傳え下さいね」

返事はなか〜い返事でしたが、待つていても終に出ては来ませんでした。

大體墨繪がかき上つた頃、人もそろつたので待望のポストを開けます。二人が肩からかばんを下げて出かけて行きます。先日、郵便局見學の時、ポストを開けるのにぶつかつた

子達がその時の事を思い出して話しあいます。鍵だよ〜」とかばんにつけた鍵でがちやりとあける眞似をしてから紐をほどいて澤山の葉書を取り出しかばんに入れます。「それからスタンプを押すんだよ」「本局では葉書は機械で押すんだよ」「でも手紙は手で押していたよ」と本局へ行つた子は手紙の山を思い出して押し始めます。スタンプが押されるといよ〜配達です。あちこちで遊んでいるお友達のところへ郵便やさんがおとどけして歩きます。郵便やさんが字が讀めないで、いち〜先生の所へ聞きに来ては配達しています。人形芝居が始まつていましたが、その舞臺裏にも配達されました。幼稚園のお友達あてでないのは郵便受に入れます。葉書をいたゞいた子の何と嬉しそうな事、葉書を持つて走つてみせに來ます。

「手紙が來たのよ」「僕にもほら」「どなたから?」

それじや讀みましようね、みんなにも見せて上げましようよというので附近にいる者で集まります。よくみえるように一人づつ葉書を持つて前へ出て繪をみせ合つたり、先生といつしよに讀んだり、字の讀める子は自分で讀ませますが、何しろ字が子供の字で讀みにくいという事、そしてつかえ〜讀んでみると、他の子供がまちきれずにさわがしくなる恐れがあるの、始んど先生がひきとつて讀むようになつてしまします。そして繪はがきの繪についてお話したり、書いた者に説明していたゞいたりこの時はあまり面白い文はありません

んでしたが、子供は、私に來たのを早く讀んで〜と大きわぎですし、差出し人は差し出し人で、「あれ、僕のだよ」とにこ〜しています。そして「お返事、きつとね」などいにかわい〜約束も成立します。どうしたわけか私の組では、葉書の來る子はきまつて一度に二三通も來るし、來ない子は全く來ないという事になりがちです。それで時には先生が、あまり手紙の來ない子あての葉書を書いて、投函しておくようにしたりします。講習の後の實地保育協議會の時、葉書の文章がうますぎるのがあつたという質問がきましたが、それは今云つたような意味と（それから次の子供の生活發表への誘導の意味もあつて）先生が子供あてに出したものです。そしてそのうち一通は昨日子供と一しよに書いたものです。

これにつゞいて生活發表、先生の話等の順でお歸りの時間になりましたが、郵便遊びはこの所でまず一段落の形になりました。受取つてお互にみせ合つた葉書は狀さしにさして歸ります。（そうしていつもは狀さしにさして歸つた葉書が又いつのまにかポストに入つて、スタンプが二つになつて配達されるということもよくあります。「先生、又昨日の手紙が來たのよ」と來ると思わずほ〜えますにはいられません。時にはそこらにあつた紙がなかったので、もしやとのぞいてみると、みんなポストの中にはいつていた事もあります）

以上は二日にわたつた講習の實地保育の遊んだ有様をそのまま書いたもので、もつとすぐれた方がなかつたらもつと理想的に行つたことと思ひます。氣づいていても出來なかつた點、

又氣づかずに子供の自然のそこなわれていた點など、未熟に
めんじて御許容さいませ。

尙ここでは、郵便ごつこのうち、葉書遊び、電話遊び等を
中心にして遊んだので、極く一部分にすぎません。葉書にま
せてがみをかいたり、又そのはがきや手紙をポストへ入れ
ずに「速達にして下さい」と郵便局の窓口へ持つていつたり
もして遊んでもいいでしょう。又その他、小包遊び、貯金遊
び、電報遊び等々郵便遊びはどん／＼發展します。あまり長
くなりませんのでそれは次の機會にゆずる事に致します。

五 この誘導保育案に含まれた


製作のいろ／＼

この郵便ごつこに使つたものの製作について、御参考まで
に少しつけ加えましょう。

ポスト（厚紙の全紙を使用。丈約七十五センチ、直径約三
十センチ） 子供に幼稚園の行き歸りによくポストを観察
させ、一方先生は本當のポストを實測して、大體その割合
で縮尺、子供と話し合いながら作りました。但し差入口だ
けは、はいらないと困るので實物に近くしました。全體朱
ぬり。丈の半分より少し上に實物はとび出した帯がありま
すが、むつかしいのでたゞ色を濃くぬるだけにしました。
同様のその帯から下の縦縞も色の濃淡で表現しました。差
入れ口の下部だけ一センチ巾で白くぬり残り、郵便物をと

り出す口は實物のように立方體に少しとび出させて、ふた
で開くようにしました。ふたには鍵穴を書きました。ポス
トの帽子は直径より少し大きいものを四方から切り込みを
入れたつまんで丸くふくらませて、實感を出すよう努力しま
した。これは始めポストの胴に固定するつもりでしたが、
困難でもあるし、又中をのぞいたりするのに便利のため、
取り外すせるようはなしておきました。色はポスターカラ
ーを大きな刷毛三四本で交替でぬらせました。ペンキやさ
んだと子供は大喜びで、ふだんは何もしないような子も、
刷毛をうばい合いでぬりました。組立てるについては、紙
も悪くてやぶれやすいし、又大きくて糊では間に合わない
ので、先生の手で糸を使つてぬい合せました。

尙、ローマ字のお得意の子がいて、白紙にPOOのHとか
いて下さつたのでそれを切りぬいてはりつけました。丁印
の寸法は實物大に白い紙に書いてきりぬき、又「郵便」と
書いた紙も本物のようにその位置にはりつけました。

はがき **切手**（實物大） 實物をみせて、色鉛筆でかかせま
した。はがきの左上肩のしるしはなるべく實物に似せてか
いてもらうようにしましたが、中にはチェイリップなどを
しるしのかわりに書いたりした子もありましたが、切手は
種々の切手を郵便局で買い集めてきて自由に作りたいもの
を選ばせましたが、やはりこみいつたものは人氣がありま
せん。一圓（富士山）二十錢（富士山）が一番多く、十五
錢（緑色の圓の中に人物）三十五錢（) がその次で、

五十錢（五重塔）を作つた者は二人あつた丈でした。これらは多くかくとあきるので少しづつ時々つくりました。

ひき出し はがきや切手を入れる爲の物。注射薬の空箱を四つ重ねて外側をはりました。模様は二三人共同でかゝせ、取手はひもをつきました。

スタンプ（いもばん） 小刀を使つて子供にほらせました。丸一のようにやさしいもの。

かばん（厚紙）かぎ（古葉書）まちを入れて口にかたいボール紙をつけました。眞黒にぬり（洋服につかぬようなえのぐ。墨など）古葉書に赤で干印をかき、きりぬいてはりつけました。實際は自轉車につけて來るのを見受けますが、子供の爲のは、ひもをつけて肩に背負うようにしました。ポストのかぎはお部屋の入口のかぎをみて古はがきにかきました。

金庫（古新聞）立體のものが作りたかつたのですが材料不足の爲、平面につくり壁にはりつけて、はめ込み金庫という事にしました。新聞紙二枚つぎ合せ墨をぬつて、取手その他金具は古はがきに黄色く書いて切りぬいて貼りつけました。お金・さいふ（古はがき） お金は寶物をみてクレオンでかゝせました。拾圓、五十錢等が人氣があり、大きな紙で百圓さつをこしらえた者もありました。古はがきの貨幣も少々。寫實的には正確に表裏を書く子も、簡略に代表的象徴（例えば五十錢なら鳥居や富士山といったようなもの）に10とか50とか書く程度のももありました。二圓や三圓のは

んばなおさつはない事も理解させるといふと思ひます。尙寶物としてみせたお金の管理に注意する事はいうまでもありません。

電話（空箱利用） 寶物大のボール紙の箱をクレオンで茶色に着色。前面下方のダイアルは眞中を糸でとじつけて自由に指でまわせるようにしました。送話機は圓筒形の箱のふたと、それより少し細目の筒とで作りました。箱の左側に受話機をかけるかぎをつけ、受話機的一端を少し大きくしてひつかけるようにしました。箱と受話機とはコードでつながります。

呼び出し電話はダイアルをつけず、箱の上部に二つのベル（圓筒形空箱のふた）をつけました。

看板 โรม字をひらがなで、大塚仲町郵便局。赤い干印。それに POST-OFFICE とつけ加えました。裏には「でんしん、でんわ、ゆうびん」等とかき、竹の柄をつけて、郵便局に下げました。

窓口・ポスター・その他 使わない窓口はすきとおつたガラス紙でふさぎ窓口は二つにして、一つの窓口に「そくたつ、でんぼう、はがき、きつて」もう一つのに「こづつみ、ちよきん、かわせ」等書いてはり、電話室の入口にも札をはりました。ポスターなどは時々とりかえると感じが新しくなつていふと思ひます。この他小包遊びの爲には、はかりや荷札、電報の爲には頼信紙、貯金遊びには貯金帳、そろばんなども必要かと思ひます。